

平成21年度 山梨県建築文化賞受賞作品

山梨県建築文化奨励賞

良好なまちなみ景観を形成している建築物等の部門
上條集落観音堂



正面外観



内観（奥は観音像）

選

評

この観音堂は、木喰百道の作である「一木百観音像」を安置するためのお堂として約200年前に建造されたものである。

観音堂のある上條集落は、切妻突き上げ屋根を持つ甲州民家が数多く残っている集落で、集落の入口の高台に位置する観音堂は地域の景観を形成する要素として重要な役割を持っている。

切妻民家集落の景観を守り伝える活動の拠点及びシンボルとなる観音堂をこの度の保存修理工事によって、本来の姿に再生したことは意義深く、また、NPO法人の人達と上條集落の住民が一緒になって工事に携わり観音堂を再生させたことは、住民参加の地域、まちづくりの観点からも高く評価できる。